

諏訪湖が天竜川に在る所に大きな鉄の閘門
がある。数年前この閘を渡って淺村に初めて
この~~閘~~ ^{青年}を訪ねた時に今渡つて来たばかりの
閘門の画を見~~て~~ ^ました。それは建造物の堅
牢さよりも色彩や雰囲氣に夢幻味の勝つた画
に~~な~~ ^なつた。

その後國畫會の出品画は山畑、湖に構圖を
おめて何か~~を~~ ^を表わそうとして~~い~~ ^おつた。それは
~~郷~~ ^郷の説明画として~~は~~ ^は不完全であるわけ
~~甚~~ ^甚

繪画としての方向に進んで来た~~た~~ ^た思はれます。

然し山村生れのこの画家は借り物をして郷
土をかかそうとはせず、持つてゐるものを
磨こうとしています。こうした洗練の仕方が
個展でさらに明かになりそうです。何卒之
の純朴な青年にお力をえを願ひ上げます。

廿三年三月

田中一